第45巻9号2022年1月1日発行（毎月1日発行）

ONE BOOK ONE LIFE 2022 1月号

ヘレン・ケラーの灯火
Nippon Lighthouse

掲示板

今年度のボランティア交流会・感謝式典を開催

当館では、毎年３月、ボランティアの皆様に日頃の感謝を表すとともに、交流を深める一日を設けています。残念ながら2020年は中止、2021年はオンライン開催となりましたが、2022年は下記の通り通常開催を実現したいと思います。

日時　2022年３月10日(木)13時～16時

会場　玉水記念館大ホール

内容　感謝式典＝活動歴20年・30年の方に感謝状贈呈、記念演奏＝箏曲家竹内一（はじめ）さん、他

竹内さんは当館の利用者。箏曲の指導・演奏活動の他、点字楽譜もご指導いただいています。

当日は会食やバザーを無くし、定員２分の１以下で開催します。万一、コロナ禍で通常開催が困難になった場合は、オンライン開催とし、記念講演は別の内容を行います。

参加申込は、１月18日(火)以降に所属の各係か総務係(電話06-6441-0015)へお願いします。

サービス部の開室・受付は10時～16時

エンジョイ！グッズサロンと図書・情報係の開室・受付は12月から10時～16時に拡大しました。但しサロンへの来室は事前予約をお願いします。

専門講習会「テキストデイジー編集コース」開講

アクセシブルな電子書籍「テキストデイジー」の編集技術を、デイジー編集ソフトウェアPLEXTALK Producerを使用して学びます。

受講資格　日常的にWindowsパソコンを使用している方、講習会修了後、所属する施設・団体でボランティア活動ができる方

日程　２月５日(土)と２月12日(土)の全２回、10時～16時

定員　10人　　受講料　1000円(資料代)

申込　当館ＨＰ(http://www.lighthouse.or.jp/iccb/informations/informations-32305/)をご確認の上、１月５日(水曜)必着でお申込ください。

問合せ先　当館製作部電子書籍ユニット(電話06-6441-1035)

１月の休館・休室について

１月６日(木)＝サービス・ボランティア活動再開

１月８日(土)＝製作部休室(10日月曜指定祝日の振替)

１月11日(火)＝エンジョイ！グッズサロンと図書貸出休室(10日月曜指定祝日の振替)

１月13日(第２木曜)＝エンジョイ！グッズサロンと図書貸出は書庫・在庫整理日のため休室。

新年のご挨拶～日本ライトハウス創業百周年を迎えて

百周年を新たな出発点とするために

館長　竹下　亘

年頭に当たり、日頃のご支援とご協力に感謝するとともに、本年が皆様にとって、より良い年となりますようにお祈り申し上げます。

本年、日本ライトハウスは創業百周年を迎えることになりました。当法人の創業は、1922年(大正11年)、岩橋武夫がエスペラントの学習書を点字出版したことに始まります。従って、百周年は、視覚障害者の方々への情報提供の歴史と言うことが出来ます。加えて、創業から10年後の1932年(昭和７年)には、岩橋武夫が自宅で点字図書の無料貸出を開始しましたので、今年は当館の事業開始九十周年にも当たります。

ここまで辿り着けたのは、長年に亘る数多くの利用者と、本誌にお名前と実績を刻んできたボランティアや支援者の皆様のお力添えのお陰です。職員一同、心からお礼申し上げます。

私どもは、この百周年を単なる祝い事に終わらせることなく、これまでの歴史をふり返り、現在の到達点と課題を吟味して、これからの新たな出発点としたいと願っています。百周年の記念事業は目下計画中ですが、決まり次第お知らせしますので、ぜひご注目下さい。

図書製作のスキルアップを目指して

製作部長　久保田　文

当館製作部の今年のテーマは、「育成」です。

製作部では、400人を越えるボランティアの皆様が点字図書、録音図書、電子書籍の製作に打ち込んでくださっていますが、来館による活動の制限が長引く中、ボランティアの方々のスキルアップを支援する取り組みが十分できていないことが大きな課題になっています。

これを補うため、私どもは早期にZoomを導入し、こまめな打ち合わせや全国規模の講習会を開催するなど、オンラインのメリットを活用する努力を続けてきました。しかし、約２年を経た今、当館の誇る製作技術はボランティアの皆様お一人お一人が、職員や仲間と直接言葉を交わすことで得られる知識や気づきを、時間を

左から林田部長、橋口専務、竹下館長、久保田部長

かけて自分のものにして来られた成果だったと気づかされています。

今年は製作部の職員一同、初心に返り、ボランティアの方々と共にスキルアップする道を模索し、日本ライトハウスならではの質の高い図書の製作に努めて参ります。

ピンチをチャンスに！

サービス部長　林田　茂

「失ったものを数えるな。残されたものを最大限に生かせ。」昨年盛り上がったパラリンピックの父と言われるグッドマン博士の言葉です。私たちサービス部の職員一同は、コロナ禍により厳しい制限を受ける中、皆で知恵を出し合い、サービス提供を進めています。

昨年は幅広い情報発信の展開に取り組み、特にYouTubeの「ニポラチャンネル」では43番組を制作。スマホのアプリや機器・用具に関すること、白杖の使い方やガイドの仕方などを紹介しました。今ではチャンネル登録者が1300人を超え、テーマによっては１万回を超える視聴もありました。使い方はさまざまで、相談や電話の問い合わせとセットにしたり、講習前の予習用にしたり、今では利用者だけでなく、福祉関係者やボランティアの方々にも大事な情報ツールになっています。

今年も、厳しい状況下でも常に最善を考え、皆さんと一緒に歩みを進めたいと願っています。

さわるとわかる わかるとかわる！～民族学博物館特別展へ

10月号でもご紹介した国立民族学博物館の特別展「ユニバーサル・ミュージアム～さわる!“触(しょく)”の大博覧会」を３人の職員で観覧しました。この特別展は、同館の広瀬浩二郎准教授がコロナ禍に抗し、「それでも僕たちは『濃厚接触』を続ける！」をテーマに企画。すべて触ることができる造形作品や文化財など280点を集めたユニークな博覧会でした。さまざまな素材と手法を用いた作品を通して体験した“触れ合い”文化の感想と様子をご報告します。（総務係 徳嶋 薫）

全身がぞわぞわと泡立つ“触”の体験を堪能

大下 歩

その作品を見た瞬間、一緒に行ったお２人がたじろぐのが分かりました。私は俄然、興味を持ちました。いったい何があるんだろう？両手を伸ばして触ってみます。

それは、痩せた人間の体でした。１…２…３体。身を寄せ合っています。１体の足の先がなかったり、あちこち肌がえぐれていたりするのをいぶかりながら、上に向かって手を滑らせた私は、すぐに「ひっ！」とのけぞりました。

３体の首から上が合体し、大きな岩のようになっていたのです。しかもただの岩ではありません。胡桃大の丸っこい石を、でたらめに集めて固めたような。神社などで見る「さざれ石」の様相です。

その無秩序な感じが、私の「鳥肌スイッチ」を直撃しました。全身がぞわぞわと泡立ちます。それでいて不思議な磁力があり、怖いもの見たさにそろそろと手を伸ばしては、あわててひっこめることを繰り返しました。

３人で作品を鑑賞して気づいたのは、手で触るときと目で見るときとで、全体像を把握するプロセスが違うことです。下から上へ体を触っていって、岩のような頭部分には最後に行き着いた私に対し、他のお２人はまず頭部分がバーンと視界に飛び込んで来て、体の細かい部分には後から気づかれたようでした。

文中に登場する彫像(「エクトプラズムの群像」)を触る大下職員

とはいえその頭部分は、そんな感じ方の違いをものともせずに、３人ともを見事にギョッとさせてくれました。お互いの感想をシェアすることで、「あ、ほんとだ！」「え、そうなの？」とおしゃべりも弾みました。

「さわる」尊さ、「さわる」面白さ

宇田 佑香

施設に入って最初に待ち受けていたのが、歴史の教科書ではおなじみ、興福寺にある「仏頭」のレプリカです。私は仏像が好きで、少しマニア的なところがあるので、初っ端からテンションが上がってしまいました。幼い頃、両親に連れられて興福寺に現物を見に行ったことがあるのですが、もちろん触るのはご法度。少しでも手を伸ばそうものなら、親に手をひっぱたかれた記憶があります。レプリカではありますが、幼い頃に触ることができなかった「仏頭」に手が触れた瞬間、夢が叶ったような幸福感に包まれました。実際に触れてみると、眉から鼻先にかけての弧のアーチが見た目以上にしなやかで、深い感動を覚えました。

この感動を胸に観覧を進めていくと、２階に差しかかった辺りで、今度は数体の仏像が並んでいるのが目に入りました。全身が黒褐色で、一見シンプルに見えた仏像の足元に触れてみると、あらびっくり！念珠のような装飾品を何重もまとっていることに気づきました。続いて、金色のメッキが施されている仏像に触ってみると、曲線的で丸みのある手触りで、とてもやわらかい印象を受けました。見たときの印象と、

触ったあとの印象が、全く違っていて、そのギャップに驚かされました。

今回の特別展で、「さわる」ことの尊さ、「さわって」気づく面白さを知ることができました。コロナ禍により様々な接触がはばかられるなか、「さわる」ことの魅力を知る機会を与えられたことをとても嬉しく思います。

空想の自宅に置く石

徳嶋 薫

印象に残っているのはセクション1「彫刻を超克する」に展示されていた、世界中から集められたハートの形をした石たちです。一番大きい物で全長約60センチ、小さい物で約20センチくらいでしたでしょうか、ハートの形と一言に言っても、採掘されたときから形はほとんど変わっていないようで、細長かったり、厚みがあったり、ハートというよりは動物の骨のような形をしていたり…。床に設置されていたので、触るときは自然としゃがむ姿勢になりました。石の表面は研磨されていて、元の石の感触がほとんど分からなかったのが少し残念でしたが、つるつるしていて丸みを帯びていて、触っているうちに段々と愛着が沸いてしまいました。

そのせいか「この中で、もし自分の家の中に置くならどの石にするか」という話題になり、「これは大きいから夏の暑い日に、手や足を乗せてヒンヤリする用の石で、こっちは平べったいから上に花瓶を乗せて玄関に置いたら素敵かも」など空想の話で盛り上がりました。私は普段美術館に行っても、「展示されている絵を家に飾ったら」だとか、「この絵を部屋に飾りたい」等の考えはしないタイプなのですが、触ったことから身近に感じられたのかもしれません。

入場してから序盤は、展示品にさわるとき、心のどこかで遠慮している気持ちがありましたが、ここからさわることへのハードルが下がり、以降の展覧も楽しめました。

「ニポラチャンネル」をご活用ください

ボランティア活動に役立つ情報も製作・登録中！

当館サービス部では、オンライン動画共有サイトYouTubeに「ニポラチャンネル」を開設し、スマホの使い方やアプリの情報、白杖、時計、拡大読書器、ルーペなどの関連機器、グッズの使い方など、視覚障害者の方や支援者の方から問い合わせの多い事柄をテーマに5分から15分程度の情報番組を提供しています。

昨年12月現在、動画数は43に達し、続々と新しい番組を製作・登録しています。ここでは、その中から、ボランティアの方に特に役立ちそうなジャンルの動画をご紹介します。

＊＊＊＊＊＊＊＊

◆点字・録音図書に関する動画

＊点字･録音(デイジー)図書の借り方について

＊プレクストーク～PTR3とPTN3 基本編

＊プレクストーク～リンクポケット

＊プレクストーク～録音の仕方や
追加オプション機能について

＊ボイスオブデイジー番外編～サピエ図書館
ホームページから図書を検索･ダウンロード

◆白杖歩行に関する動画

＊白杖の紹介

＊白杖を使って歩いてみよう

＊視覚障害者のガイド(手引き)の仕方

◆その他

その他のジャンルとしては、視覚障害者の方に大好評の「視覚障害者向けの機器や用具」(16番組：拡大読書器やルーペ等の用具の紹介、機器の比較等）や、「iPhone(アプリ)に関する動画」(25番組：iPhoneの基本設定、操作やアプリ紹介等)もあります。

＊＊＊＊＊＊＊

「ニポラチャンネル」をご覧になるには、当館のホームページ(http://www.lighthouse.or.jp/iccb/）からアクセスするか、インターネットのGoogleやYahooなどの検索エンジンで「ニポラチャンネル」と検索すると上位にヒットします。

動画一覧で表示される番組の並びはアトランダムですので、チャンネルのトップ画面から「再生リスト」をクリックすると、上記の「ジャンル」別に再生・視聴できます。チャンネルを登録しておくと、動画が探しやすく、更新のお知らせ機能もありますので、ぜひご登録下さい。チャンネルの利用は無料です。

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2021年11月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

♣ 点 字 製 作 ♣

11月分完成点字図書
18タイトル65冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

怒れる老人(安藤俊介)　2冊
点:高橋淳子
校:井上重子　平野 健
医師が教える新型コロナワクチンの正体(内海聡)　3冊
点:梶原由美子
校:宗像真李子　木村寿子
大人だって読みたい!少女小説ガイド(嵯峨景子 他)　6冊
点:絹川和子
校:宗像真李子　岡田允子
体と向き合う家ごはん(ウー・ウェン)　2冊
点:髙木智佳子
校:西尾純子　平野 健
鬼滅の刃16(吾峠呼世晴)　1冊
点:南 佳奈
校:栗栖 忍
兼好法師(小川剛生)　4冊
点:高橋奈緒己
校:G校正　土橋貞子
岡田允子
合格への最短完成英語(栄光ゼミナール監修)　10冊
点・校:グループONE
こちら、まほろば動物病院(鷲塚貞長)　1冊
点:松本稔子
校:山根真紀子　辻野純代
JAL機長たちが教えるコックピット雑学(日本航空編)　2冊
点:野村惠美子
校:有光美穂　岡田允子
代謝がすべて(池谷敏郎)　3冊
点:平林隆雄
校:鴻上真理　平野 健
トウガラシ大全(S・ウォルトン)　6冊
点:山本普実雄
校:佐藤明子　橋詰玲子
毒(A・トゥー)　2冊
点:安井良恵
校:鴻上真理　平野 健
罵詈雑言辞典(奥山益朗)　10冊
点:黒堀比佐子
校:華崎律子　福元悦子
夢花一輪(吉成大四郎)　2冊
点:大杉敦子
校:前田裕子　平野 健
メディカルアロマレシピ(岩橋知美)　2冊
点:永薮直子
校:藤井恵美子　岡田允子
免疫力を高める最強の浅漬け(車浮代 他)　2冊
点:増田芳子
校:工藤京子　篠原苑子
モダリーナのファッションパーツ図鑑(溝口康彦)　5冊
点:栗栖 忍
校:南 佳奈　福元悦子
許す練習(杉山崇)　2冊
点:雀部喜久子
校:加尾美千子　平野 健

♠ 録 音 製 作 ♠

11月分完成録音図書
13タイトル(書名、著者、録音時間、音訳者、校正者、編集者)

裏を見て「おいしい」を買う習慣(岩城紀子)　4:45
音:坪田捷子
校:上月直子　阪越紀子
編:荒木良子
髪トレ(余慶尚美)　4:36
音:八十嶋敦子
校:平田恵美子　松井喜美代
編:本村英子
企業として見た戦国大名(真山知幸)　7:27
音:水谷和子
校:前川祐子　松井喜美代
編:辻野玲子
薬のギモン早わかり帖(藤井義晴)　7:08
音:二宮真理
校:西村郁子　松本紀代
編:石井ふみ代
コーヒーが廻り世界史が廻る(臼井隆一郎)　8:33
校:寺田典子　羽田直美
阪越紀子
編:柳本絹子
コロナうつはぷかぷか思考でゆるゆる鎮める(藤野智哉)　4:14
音:羽田直美
校:宮 清子　松井喜美代
編:古跡眞知子
在宅ケアのはぐくむ力(秋山正子)　5:17
音:谷澤耀子
校:岡 香代子　鈴木ますみ
阪越紀子
編:山崎千代子
紙幣の日本史(加来耕三)　8:39
音:遠藤敬子
校:山本雅子　有末 道
渡辺一枝
編:川端正子
世界からコーヒーがなくなるまえに(P・レッパネン 他)　8:26
音:川辺洋子
校:岩田真智子　鈴木ますみ
西田芳美
編:石井ふみ代
ちくわぶの世界(丸山晶代)　5:04
音:平田佳子
校:二宮真理　土井賀津子
編:吉川順子

ちょっと心配な健康診断の
数値がすぐにわかる本
(和田高士監修) 11:10
音:浜本裕子
校:野﨑淳子　久保洋子
松井喜美代
編:本村英子
のみタイム1杯目
(パリッコ 他) 7:19
音:澤田和代
校:鈴木ますみ　松井喜美代
編:小林万智子
秘密に満ちた魔石館2
(廣嶋玲子) 3:26
音:二宮真理
校:辻野玲子　土井賀津子
編:小倉玲子

♥ プライベート製作 ♥

点字図書

「金平糖」第155回 短歌サロン 1冊
点:待田敏彦
校:若林安也子
平成30年度 第6回公開テスト 1冊
点・校:グループONE
らくらくホン F-01M 取扱説明書
(株式会社NTTドコモ) 9冊
点:待田敏彦
校:糸山武博

録音図書

福沢山脈(小島直記) 21:36
音・編:坪田捷子
弱った体がよみがえる人体力学
(井本邦昭) 4:04
音・編:三原太郎

◆ 定 期 刊 行 物 ◆

『ONE BOOK ONE LIFE』2021年12月号
発送:木下正義　中島小夜子
中島千恵　西垣泰子　山田一弘

『読書』2021年12月号
デイジー版　1:10
音:寺下千秋　校:下山とよみ
発送:板波キミ　並木昌子
宮崎ナオヨ　宮野興子

『アミ・ドゥ・ブライユ』第38号
点字版　1冊
点・校:河村牧子　清水浩子
古林敬子

『JRニュース』2021年12月号
点字版　3冊
点・校:金曜日グループ

『お役立ち目録～動物が
主人公の小説』2021年12月号
デイジー版　0:10
音:寺下千秋　校:下山とよみ

『子供の科学』2021年10月号
デイジー版　4:42
音・校・編:グループ汐(ゆうしお)
井駒多津子 岸田素子 澤田美那子
夛田禮子　田中英子　土井明美
宮 清子　吉田 薫

『サイエンスかわら版』2021年10月号
デイジー版　3:36
音・校・編:情報文化センター
「理数チーム」
岩田真智子　大屋敦子　木村純子
久保洋子　橋本万里　目連雅子
山本雅子

『日経パソコン』2021年11月号
デイジー版　3:38
音・校・編:情報文化センター
石井那智子　小倉玲子　桂 公子
金井典子　川端真知子　北川温子
木村純子　小林幸子　小林万智子
小森佳津子 坂口幸子 阪本由美子
佐藤圭子　佐山敦子　下山とよみ
寺下千秋　寺田美枝子　西村郁子
二宮真理　橋本万里　浜本裕子
平田惠美子　福島博子　前田元子
三上 菊　溝渕久美子　目連雅子

『英語よもやま通信』2021年12月号
デイジー版　2:26
音・校・編:情報文化センター
「英語チーム」
岡﨑節子　川端真知子　川辺洋子
小林幸子　中島美穂　中島 睦
中原尚子　前田元子　的場操代
脇本登志子

『週刊新潮』デイジー版
◆2021年11月4日号　9:26
今岡松代　榎原真理　岡村勝彦
奥田和美　上田啓子　河原眞知子
衣田智恵美　木村加代　黒河典子
後藤泰子　正田潤子　中村千賀子
中村直美　中本和代　西田文子
野村美穂子 東浦雅代 兵頭つね子
深津綾子　福田佳代
編:中本和代

◆2021年11月11日号　10:43
畔田文恵 井尻府三重 稲田至功子
岡﨑節子　長村明子　加藤和夫
上村裕子　坂口幸子　坂本雪枝
阪本由美子　佐藤公平　澤井 稔
白井律子　鈴木恵子　武市敦子
寺下千秋　土井静栄　永井憲子
西和田惠子　野村純子　濵 洋一
林 由子　福井栄子　向髙寿子
山本スズ子　山本晴代　湯浅里美
和布浦眞里子
編:大島幸枝

◆2021年11月18日号　10:12
荒木節子　太田貴子　越智真弓子
北村優美子　帰村千恵　清水百世
髙久俊子　田渕浩子　寺西竹子
中本和代　中村洋子　成田次雄
成田由起　西村道子　西山トシ子
直場徳宥　橋本明子　橋本佳子
服部秀美　星子鐵郎　前田元子
松原和子　守田喜久子　山下 豊
山田栄利子　和田文子
編:中本和代

◆2021年11月25日初霜月増大号
11:02
有川美津子 大久保美弥 大島幸枝
大森恵子　岡﨑節子　岡田栄子
上村裕子　神谷勉子　川添美智子
川本くるみ　北元直子　久下悦子
小池雅子　國分清子　阪本美紀
坂本雪枝　佐藤公平　澤井 稔
澤田由紀　地福延代　島田悦代
嶋津美香　鈴木栄二　髙田雅子
髙橋孝子　武市敦子　玉置明美
地上博子　坪田捷子　冨田久美子
西田千波　野村純子　橋村惠子
濵 欣子　兵頭賢一　平田惠美子
弘津千加子　前田元子　松浦洋子
八十嶋敦子　和田ゆう子
和布浦眞里子
編:佐古智子

◆新潮音訳協力グループ
八幡市民図書館朗読ボランティア
サークルよむよむ
奈良県視覚障害者福祉センター
「草笛会」
グループN-BUN
デイジー大阪

☆ 電子書籍 ☆

◆プライベート製作
伝統鍼灸 第47巻 第3号
(通巻100号)
中川幸子
御堂筋ものがたり
足立佐紀子
日本の障害者 過去･現在および未来
平林隆雄

◆マルチメディアDAISY図書
ちゃんと知りたい!新型コロナの
科学
テキスト化:永薮直子　森田敏子
DAISY編集:森田敏子
DAISY校正:加藤珠子　山田理子
音(TTS):吉田典子
音:浜本裕子　久保洋子
西田芳美　伊東晴子

❣ 対面リーディング ❣

大坂陽子　片山紀子　桂 公子
北川 悟　田那辺優子　田伏惠子
奈良典子　麓 孜子　堀内眞里
増尾明子　南 礼子　森田幸子
山内紀代子　山形節子
11月　利用者7人･17件

『対面リーディング通信』編集
伊東晴子　木村謹治　澤井 稔
細井昌子

❦ 館内お手伝い ❦

図書･情報サービス
板波キミ　板谷照美　上田敬子
海上映一　片岡忠克　木村謹治
帰村千恵　小寺高子　武部はつ子
田間泰子　逸見恵子　福冨小夜子
宮嶋昌代　森本益子　若槻敬子
渡邊洋子
[茨木市バラの会]
堂 晴美　片倉康子　永崎利恵

◆11月の貸出実績
点字　132tl　DAISY 3056tl
テープ　4tl
★11月の人気貸出図書★
(当館製作図書。順不同。)
【点字図書】
室温を2度上げると健康寿命は
4歳のびる(笹井恵里子)
鬼滅の刃 14(吾峠呼世晴)
元禄時代の世情譚(新家猷佑)
大洪水が神話になるとき
(庄子大亮)
【録音図書】
聖域捜査(安東能明)
怪盗探偵山猫[4](神永学)
闇の中の猿(石田正之)
いつでもどこでも鼻がよくなる
小さな習慣(今野清志)

整理・情報サービス
板谷照美 鱗星千恵子 岡田満千代

電子書籍
池尻三千子 木原富子 千徳節子
西村佐世子　新田 優

✎ 音 声 解 説 ✍
(ボイスぷらす)

◆シネマ･デイジー
「義母と娘のブルース Disc.1」
ナレーション:川添美智子
藤井倫子
日本語吹替:廣野美代子
台本制作･編集:川添美智子
北川富美代　廣野美代子
藤井倫子
「警部補 古畑任三郎 2nd season
Disc.4」
ナレーション:勝亦悦子
古澤滿壽枝
日本語吹替:田中千壽子
台本制作･編集:勝亦悦子
古澤滿壽枝
台本校正:西川真知子　藤井倫子

✉ パソコンサポート ✉
(ボイスネット)

【11月実績】
来館:斧田綱子　木村朱美
栗谷博子
週報:阿佐和幸
HP更新:中条正信

《一ツ橋綜合財団助成事業》
アクセシブルな電子書籍、シネマ・デイジー等、当館の先端的なメディアは公益財団法人一ツ橋綜合財団のご助成により製作されています。

講演会「読書BF法とボランティア活動」に70人

当館では昨年12月11日、当館のボランティアを対象に標題の特別講演会を開催。竹下館長の「読書ＢＦ法の内実とボランティア活動の価値」と、福井副館長の「ＡＩには出来ない！意味内容を伝える点訳･音訳･電子書籍」をZoomと会場参加で行ったところ、合計70人が参加しました。竹下は読書ＢＦ法の問題点を、福井はＡＩ(人工知能)の限界を指摘した上で、共に、書籍や文書を正しく点字や音声、電子書籍に置き換えるには、人の知恵を絞った工夫と努力が不可欠なことを強調し、ボランティアのさらなる研鑽と協力をお願いしました。福井の講演は本誌２月号に掲載する予定ですので、ご期待ください。

「暗所視支援眼鏡」を今年も全国９校に寄贈

日本ライトハウスでは「盲学校の生徒に星空を」をスローガンに、今年も暗所視支援眼鏡HOYA MW10 HiKARI(ヒカリ)のクラウドファンディング(インターネットによる寄附募集)を行ったところ、全国84人の方から合計3,178,000円のご寄附を頂き、９校に寄贈することができました。この事業は故岡田弥サービス部長が始めたもので３年３回目。寄贈先は合計26校になり、今後も希望校に贈り続けたいと考えています。ご厚志を賜った皆様に心からお礼申し上げます。

今回の寄贈先は以下の９校。静岡県立沼津視覚特別支援学校、北海道札幌視覚支援学校、群馬県立盲学校、山梨県立盲学校、大分県立盲学校、愛知県立名古屋盲学校、愛知県立岡崎盲学校、岡山県立岡山盲学校、岐阜県立岐阜盲学校。

感謝報告（続き）

＊ご　寄　附＊

小野興三郎　玉置明美　舟橋雄一　渡辺典子
匿名1件　　（敬称略をご容赦下さい）

あ ゆ み

【12月】
２日 全視情協サピエ研修会(～３日)
11日 特別講演会･読書BF法とボランティア活動
16日 見学:福岡市立点字図書館
18日 オープンデー(館内見学日、７人)
24日 サービス最終日
25日 ボランティア活動最終日
28日 仕事納め

予　定

【１月】
５日 仕事始め
６日 全館ボランティア活動・サービス再開
８日 製作部休室(10日月曜指定祝日振替)
11日 サービス部休室(10日月曜指定祝日振替)
13日 ボランティア世話人会
エンジョイ！グッズサロンと図書貸出休室
(書庫･在庫整理日)
15日 オープンデー(館内見学日･要予約)
20日 見学:大阪医専

編集後記　新しい年の目標は決めましたか？去年の私の目標のひとつに、洗剤を使う量をなるべく減らそう、というのがありました。SDGsも考えて、今年も継続しようと思います。洗剤を減らすことを意識すれば、すすぎのときなどに無駄に水を使う量も減らせるかもしれません。人と自然に優しい洗剤を見かけるようになりました。ココナッツやヤシの実など植物油脂を原料に、台所用にも衣料用にも、トイレやお風呂、家具、洗車など住居用にも共通して使えるようです。今までそれぞれ使い分けていたのはなんだったのか？SDGsの17の目標の中の「14･海の豊かさを守ろう」「15･陸の豊かさも守ろう」を意識して一年を送りたいと思います。(一)

ONE BOOK ONE LIFE(ワン ブック ワン ライフ) 2022年1月号
発　行　社会福祉法人日本ライトハウス
情報文化センター(館長 竹下 亘)
住　所　大阪市西区江戸堀1-13-2(〒550-0002)
TEL 06-6441-0015　FAX 06-6441-0095
E-mail info@iccb.jp
表紙絵　武部はつ子
発行日　2022年1月1日
定　価　1部100円　　年間購読料1,000円

公式SNSはじめました　twitter　Instagram　YouTube